令和６年度　第１回砂川市総合教育会議

○日　時　　令和６年 11 月 19 日（火）9:00～9:45

○場　所　　砂川市役所　３階　市長会議室

○出席者

（構成員）	市　長	飯澤　明彦
	教育長	髙橋　　豊
	教育長職務代理者	平間　芳樹
	教育委員	住　亮太郎
	教育委員	坪江　利香
（事務局）	総務部長	板垣　喬博
	政策調整課長	三橋　真樹
	政策調整課企画調整係長	藤田　美穂
（教育委員会事務局）	指導参事	堤　　雅宏
	技　　監	徳永　敏宏
	学務課長	早川　浩司
	学校再編課長	玉川　晴久

○議事録

１．開会

事務局

本日は、お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。ただいまから、令和６年度第１回砂川市総合教育会議を開催します。はじめに、飯澤市長よりご挨拶を申し上げます。

２．市長あいさつ

市長

本日はお忙しい中、第１回砂川市総合教育会議にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。また、日頃より砂川市の教育行政にご尽力を賜っておりますことに感謝を申し上げます。

本日は議題が３つございまして、義務教育学校について、いじめアンケートの集計結果について、全国学力・学習状況調査についてという３つの議題で話し合いをしていただきますけれども、先だって学力調査の結果が新聞等にも出ておりまして、砂川市でも学力が今年度については良い状況にあるということと、歌志内・浦臼・秩父別では全道平均を上回るような結果が出ているような状況も報道されてございました。

本日はそれぞれの議題についてお話し合いをしていただきますけれども、それぞれについて皆さんから忌憚のないご意見を聞かせていただいて、教育行政に反映させていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたしま

す。

事務局　　これ以降の進行については、砂川市総合教育会議設置要綱第４条に基づき、議長となります市長のお手元で進行していただきます。よろしくお願いします。

市長　　議題に入る前に、本会議は原則公開としているところでございますが、本日の会議については、(２)「令和６年度 いじめアンケートの集計結果について」及び（３)「令和６年度 全国学力・学習状況調査の結果について」は、個人情報に関する案件であることから、非公開で行いますのでご了承願います。

３．議題

（１）義務教育学校について

市長　　それでは議題に入ります。議題（１)「義務教育学校について」、事務局より説明願います。

事務局　　議題（1)「義務教育学校について」、教育委員会 学校再編課長より説明いたします。

― 教育委員会 学校再編課長より説明 ―

市長　　ただいま（1)「義務教育学校」について、教育委員会より説明がありましたけれども、それを踏まえて意見交換の方に入りたいと思います。委員さんからご意見やお考え等をお聞かせいただければと思います。

委員　　先日市内の小学校訪問が終わったんですけれども、それぞれの学校が令和８年度の開校を意識した学校運営になっているような感じで、良い方向で準備が進んでいると思います。ただ、私が開校までに一つ心配しているのは、開校の時にしっかりとしたスタッフがちゃんと揃うかどうか。あと２年しかありませんので、そこをうまく進めることが今一番重要な問題なのかなと感じています。それ以外はすごく着実に進んできているなという印象は受けています。

委員　　学校建設が始まってからあまりそちらのほうに行っていなかったのですが、だいぶ進んでいるなと感じました。私も学校訪問に行って、それぞれの学校が本当に新しい学校を楽しみにされているなという様子がうかがえるようになったと思っています。あとやっぱりご時世と言いますか、どうしても特別支援を必要とする子どもたちが、少なからずどの学校にもある程度の人数がいて、その子たちが一つの学校になった時に、どれくらいの人数でどれくらいの教員の手を必要とするのかなというところは、一度教育委員会定例会の場でお話をしようかなと思っていたんですが、そういうところを見ておく必要があるのかなと思っていました。外側は皆さんのおかげだと思うんですけれ

ど、確実に進んでいて、様子が何となく良い方向に見えてくるなという反面、子どもたちはどこまで見えているのか、楽しみに思っているのか、でもやっぱり不安に思っていたりしないのかとか、１対１ではうまくいくけれども、人数が多くなったことによって不安になる子はいると思うので、その辺のすくいとってあげられるような環境をもっと作っていけたらいいのかなと思いました。全体的に私もそうですけど、本当に一つの大きな学校になるので、楽しみに迎えられたらいいなと思っています。

委員　先日学校訪問をさせていただいたんですけれども、子どもたちが統合に向けて意識が高まっているというか、昨年より砂川全体の小学校の子どもたちが授業を受ける姿勢も緊張感を持っていますし、他の学校に負けられないぞみたいな気持ちが伝わってくるような非常にいい雰囲気で授業を受けていたんですよね。あと気になったのが、今色々ICTを活用しているんですけれども、ICT の部分で他の学校と足並みを揃えていないと統合したときに困るんじゃないかなと思ったんですが、その反面、できない子どもたちにできる子どもが教えたりっていう効果も生まれたりするのかなと。やっぱり学校間で砂川学習スタンダードの足並みを揃えるというのが一番重要だなと思いました。

市長　ありがとうございます。皆さんのお話を聞いていると、良い方向には進んでいるのかなということで一安心しました。それでは、義務教育学校についてはこれで終了させていただきます。

以　上

※「（２）令和６年度いじめアンケートの集計結果について」及び「（３）令和６年度全国学力・学習状況調査の結果について」は、個人情報に関する案件のため非公開。